



森林科学科の学習風景



環境と共に生きる。森林科学分野で、その知識と技術を学ぶ。

人間生活に無くてはならないものとして自然や森林がある。自然や森林との共生が求められる今、私たちは、実際の自然や森林を前にして、何をすべきなのか。どうすれば共生できるのか。



演習林で植生調査



金華山の照葉樹林観察



演習林での間伐実習



樹種の検索実習

社会で生かせる技を得る。その道のプロフェッショナルを感じる。

どんな世界で社会貢献するのか。高いレベルの知識を得て活躍することも良いが、地道に技術を習得する道もある。将来の目標を早く決めれば、それを実現させるチャンスも増える。あなたは、いつ将来と向き合うのか。



トータルステーション測量



平板測量



CADを使った製図



樹木の幹の太さを測る

先輩に学び、社会に学び、自分に気づく。

森林科学科を卒業して、社会で活躍する先輩に学べ。また、社会で森林や環境、生産、技術に向き合うプロに学べ。そんなイベントの中で、ちっぽけな自分に気づき、原点に戻って自分の夢をもう一度膨らませ。



郡上市消防でのイク-ツツッ



林業会社でのイク-ツツッ



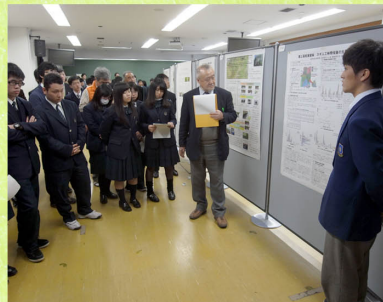
東濃ひのきの産地(中島工務店)見学



ひるがの大根農家見学



岐阜大学で高校の取り組みを発表(優秀授賞)



卒業生と語る会

最近の出来事や進路情報などは郡上高校ホームページで公開中→→→





地域の文化に有益な資源を見いだす。「グリーンライフ」

失われつつある山村社会。都市に機能が集中する今、山村の暮らしにスポットライトを当ててみる。古き良き時代は、新しい山村の資源として、私たちが、「楽しみ」、「感じて」、「伝える」。地域に学ぶ、科目「グリーンライフ」学習。



学校裏の山菜で天ぷら

美濃和紙の里会館で紙すき アマゴの釣り体験と塩焼き

販売会に向けた自然薯の栽培



本気でやるから楽しめる。学校行事や資格取得にも全力で取り組む。

3年間、クラス替えのない森林科学科生徒は、「絆」でつながる。さらに、部活動や学校行事に「本気」で取り組む。本気で取り組むからこそ、そこにある「楽しさ」が見えてくる。そして、強い絆へと進化する。



農業が全国大会優秀賞・郡上市長に表敬訪問

農業鑑定県大会優秀賞

平板測量競技県大会優秀賞



校内農業鑑定競技会

白山(2,702m)への登山実習

実習生産物の販売会(写真は自然薯販売)



課題の宝庫「フィールド」とプロの知恵と技に行き着く「課題研究」

2～3年生で学ぶ科目「課題研究」は、それぞれの生徒が疑問に思ったことを、思い切り研究できる科目。演習林や栽培農場、さらに地域社会は課題の宝庫。やればやるほど研究が面白くなる。



あゆかけの技術指導を受ける

はじめて釣れた鮎

ニホンミツバチの飼育

ハチミツと巣礎



おくみの自然薯組合訪問

郡上市役所課名看板の納品

ぐじよスポ感謝祭販売

明宝保育園砂場看板納品

最近の出来事や進路情報などは郡上高校ホームページで公開中→→→

